

【解説】 LPI300 模擬問題

問題 1

OpenLDAP サーバの TLS 認証についての説明で正しいものはどれですか？(2つ選択)

- 1 クライアントによるサーバ認証ありの場合は「TLS_REQCERT demand」と設定する
- 2 クライアントによるサーバ認証なしの場合は「TLSVerifyClient try」と設定する
- 3 サーバによるクライアント認証ありの場合は「TLS_REQCERT allow」と設定する
- 4 サーバによるクライアント認証なしの場合は「TLSVerifyClient never」と設定する

【正解】 1, 4

クライアントによるサーバ認証は TLS_REQCERT で、サーバによるクライアント認証は TLSVerifyClient で設定する。
パラメータ値が demand は証明書を要求し、never は証明書を要求せず認証を行わない。

問題 2

Windows アカウントを UNIX アカウントとして利用するためのデーモンはどれですか？(1つ選択)

- 1 smb
- 2 nmbd
- 3 pam_winbind.so
- 4 winbindd

【正解】 4

winbindd デーモンを起動することにより Windows アカウントを UNIX アカウントとして利用できる。
/etc/nsswitch.conf ファイルの中で passwd および group のエントリにキーワード winbind を指定する。
ユーザ認証は pam_winbind.so により行う。

問題 3

Samba で Windows ACL をファイルに保存するモジュールはどれですか？(2つ選択)

- 1 vfs_acl_xattr
- 2 vfs_acl_tdb
- 3 vfs_audit
- 4 vfs_recycle

【正解】 1, 2

vfs_acl_xattr モジュールは Windows ACL を個々のファイル拡張属性に、vfs_acl_tdb モジュールは TDB ファイルに格納する。
smb.conf の中で「vfs objects = acl_xattr」あるいは「vfs objects = acl_tdb」と指定することにより、Windows ACL との互換性を高めることができる。

問題 4

Samba4で Kerberos 認証を提供するデーモンはどれですか？(1つ選択)

- 1 samba
- 2 smb
- 3 nmbd
- 4 krb5kdc

【正解】 1

Samba4では Kerberos 認証サービスは samba デーモンの内部に組み込まれている。
samba デーモンから生成される子プロセスの samba デーモンが Kerberos 認証サービスを提供する。
krb5kdc は Samba4でなく、独立した Kerberos パッケージから提供される認証サーバである。

問題 5

Samba4 Active Directory の内部 DNS ゾーンに IP アドレスが192.168.1.2のホスト host01の正引きレコードを追加するコマンドはどれですか？(1つ選択)

- 1 net ads join host="host01 A 192.168.1.2"
- 2 samba-tool host add host01 A 192.168.1.2
- 3 samba-tool dns add localhost example.com host01 A 192.168.1.2
- 4 Samba4の内部 DNS は逆引きのみをサポートし、正引きゾーンはない

【正解】 3

samba-tool コマンドにより内部 DNS ゾーンにホストの A レコードを追加できる。
書式: samba-tool dns add ドメインコントローラドメイン名 ホスト名 A IP アドレス



Linux・Java・Android・MySQL・OSS・DB

研修の他、書籍の執筆も行っています

〒183-0026 東京都調布市小島町 一丁目11番地6 エンケ203

URL <http://kwd-corp.com/>

電話番号 042-428-2611



[LPI 300] Mixed Environment Exam 対応コース開催

2014年1月1日に LPI からリリースされた LPI300試験の対応コース「Samba+OpenLDAP サーバ構築」を3月31日(月)から5日間の日程で開催致します。LPIC レベル3取得をお考えの方にお薦めのコースです。

講義と実習の中で、OpenLDAP のセキュリティ設定、レプリケーション、Samba のファイル共有とユーザ認証の設定、Windows ドメイン連携、および LPI300試験で加わった新たなトピックである Samba4 Active Directory ドメイン構築について理解を深め、最後に各トピックを網羅した100問以上の模擬問題を解いて試験合格を目指します。

コース名	LPI300対応コース「Samba+OpenLDAP サーバ構築」
開催日	2014年3月31日(月)～4月4日(金) 5日間 10:00～17:30
講習会場	プラットフォームスクウェア 会議室 東京都千代田区神田錦町3-21(地下鉄東西線 竹橋駅より徒歩2分、 地下鉄三田線・新宿線・半蔵門線 神保町駅より徒歩7分)
LPI300受験	コース最終日4月4日(金)16:00～17:30 近隣の試験会場にて受験。ただし希望する方のみ(受験料は別途請求)



[LPI 304] Virtualization & High Availability Exam 対応コース開催

LPI304試験の対応コース「Linux 仮想化と高可用性」を6月に5日間の日程で開催致します。クラウドのベースともなる仮想化とクラスタ分野で LPIC レベル3取得をお考えの方にお薦めのコースです。

講義と実習の中で、高信頼性システムの要素となる各ソフトウェアを理解し、仮想化、ロードバランサー、クラスタ管理、およびクラスタストレージの具体的な構築方法について理解を深め、最後に各トピックを網羅した70問以上の模擬問題を解いて試験合格を目指します。

コース名	LPI304対応コース「Linux 仮想化と高可用性」
開催日	2014年6月。5日間 (3月末に日程が確定次第、弊社 Web にて掲載)
講習会場	プラットフォームスクウェア 会議室 東京都千代田区神田錦町3-21(地下鉄東西線 竹橋駅より徒歩2分、 地下鉄三田線・新宿線・半蔵門線 神保町駅より徒歩7分)
LPI300受験	コース最終日 近隣の試験会場にて受験。ただし希望する方のみ(受験料は別途請求)

information

2014年1月1日から試験体系が変わり、LPI300、LPI303、LPI304のいずれか1つの試験に合格することでレベル3資格を取得できるようになりました。

【お問い合わせ先】

ナレッジデザイン 受付担当

Tel : 042-428-2611

URL : <http://kwd-corp.com/>

Mail : encke@kwd-corp.com

